



# 大部っ子

大部小だより

令和5年10月

「やさしく かしこく たくましく」－自ら学び、ともに生きる児童の育成－

文責：学校長



【大部小公式HP】 <https://ono-edu.jp/obe/>

【大部小公式HP】 <https://ono-edu.jp/obe/>

「信念を持ち、努力を重ねて、チャンスを逃さない」

吉 岡 優

2014年7月、一人の少年が大勢の報道陣を前に、隣に座ったサッカー界のあの世界最高峰であるクリスティアーノ・ロナウド選手に覚えたてのポルトガル語で質問をしました。その少年は緊張しすぎて、震える声で何度も何度も詰まりながらも練習をしてきたポルトガル語で一生懸命質問をしました。



そんな中、報道陣の中から笑い声が起こりました。ロナウドは、報道陣に向かって幾分怒りを込めながら「どうして笑うんだい？彼のポルトガル語は素晴らしいよ。一生懸命やっているのにほめたたえる方が正解じゃないのか！」とビシッと言い放ちました。

少年：「こんにちは僕の名前はリョウタです。」（以下、ポルトガル語での会話、日訳）

ロナウド：「こんにちは リョウタか。」

少年：「僕の夢はサッカー選手になることです。どうすればなれますか。成功を手にするには何をすべきですか？」（会場から笑い声が…。） ※動画はここから→

ロナウド：「どうしてクスクス笑ってるんだい？ 少年のポルトガル語は立派だよ、とっても！素直に喜べばいいじゃないか、少年が果敢に挑戦してくれてるのをさ。そうだろ？（【原文】Why they smile, why? He speaks good Portuguese, very good! They should be happy because he tries very hard, good.）（会場が静まり返り、大きな拍手に代わる…。）

ロナウド：「私がいつも言っていることで強く信じ、厳しいトレーニングをし、自身の力を信じたら人生ではチャンスが来るんだ。サポートしてくれる人、運、チャンスも必要だけど人生ではみんなにチャンスが来ると思っている。みんな一度はチャンスが必ずあるんだ。私は夢を負い、家族がサポートしてくれたんだ。また、家族がいつもチャンスを与えてくれてたんだ。そして、16（17）歳でプロサッカー選手になったんだ。私はチャンスをつかんだんだ。私のメッセージは、『自分自身の力を信じて、一生懸命に取り組み、自分自身に100%捧げること、そして、夢を見ることなんだ。『可能なんだ』ってずっと信じることなんだ。』

少年：「本当にありがとうございます。すごくうれしいです。いつも応援しています。」

ロナウド：「OK！ありがとな！」



それから6年後の2021年1月。第99回全国高校サッカー選手権大会を制したのは、優勝候補筆頭の青森山田をPK戦の末に下した山梨学院。11年ぶり2度目の優勝を果たした山梨学院の25番を背負う岩岡遼太選手こそ、あの時の少年だったのです。

さらに3年後の今年2023年7月。ロナウド選手は試合のため5度目の来日を果たしました。その際に、前回来日のときに「可能性を信じて」とエールを送ったリョウタ少年が高校サッカーで優勝したことを伝えられると満面の笑みを浮かべ、以下の発言をしました。

あの少年が望むことが成し遂げられてすごうれしく思います。いつも同じことを言っていますが、自分自身を信じることです。才能だけじゃダメなんだ。才能に加えて努力しなきゃいけないんです。そうじゃないと一番重要なことは成し遂げられません。つまりは、(成果を出すためには)信念を持ち、努力を重ねて、チャンスを逃さないことだよ。あの少年に私の言葉が影響を与えたとすればうれしく思います。

他の少年たちも人生で成功を手に行けるように願っています。私には5人の子どもがいて彼らにも同じことを願っています。人生での成功は多大な努力によるものなのですべての子どもたちの最善(成功)を願っています。

ロナウド選手の「(成果を出すためには)信念を持ち、努力を重ねて、チャンスを逃さないことだよ。」の言葉はとても重みがあり、胸にズシンときますね。小野市は「夢と希望の教育」を推進していますが、ロナウド選手の発言にもあるまずは「夢(と希望)をもつ」ことがとても大切な、と改めて感じずにはられません。



さて、11月1日ですが、小野市の「夢と希望の教育」の土台となっている「脳科学理論」を提唱されている川島隆太先生の講演がエクラで予定されています。小野市の夢と希望の教育がよくわかると思います。ふるってご参加ください。(案内は別途)なお、「[川島隆太先生の夢と希望をかなえる脳科学 Short Seminar](#)」がYouTubeチャンネルとして公開されています。

## 『人権と子育て』について考える1日

20日(水)、第3回学習参観日を実施しました。参観いただいた道徳の学習では「ことばの意味」「多文化共生」「男女共同参画」「国際貢献」などなど、各学年様々なテーマで、子どもたちはしっかり考える機会が持てたと思います。来賓の方々が口々に「大部の子どもたちはとても落ち着いて学習に取り組んでいる。」とお褒めの言葉をいただきました。



講演の様子

また、小林祐子先生の「子育て」をテーマとしたPTA講演会から、色々気づかれたこともあったと思います。今からでも、実践できることなどを示唆いただき、学びの多かった講演会だったのではないのでしょうか。先生にはもっといろいろな話をお聞きしたいと思いました。